

健康経営の推進

2030年
目標

従業員の活力を維持する健康経営の推進

富士フイルムグループは、ビジョンとして掲げる「新たな価値を創造するリーディングカンパニーであり続ける」を実現するには、活力ある風土と、従業員が安心して心身ともに健康で生き生きと働くことができる環境が不可欠と考え、生活習慣病・禁煙対策、がん対策、メンタルヘルス対策、長時間労働対策を重点領域として、従業員の健康維持増進に向けた活動を推進しています。

また労働安全衛生については、「労働安全は事業活動の原点である」という考えのもと、安全最優先で従業員の労働安全衛生の確保に努め、関連諸法令の順守徹底を継続します。

労働安全衛生・健康推進方針 http://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/vision/health_safety.html

2018年度
の活動

【目標】がん検診率を90%以上にする(男女:胃・肺・大腸)

- 胃内視鏡検査、婦人科がん検診の受診者が順調に増加。特に社内の内視鏡検診に特化したクリニックでは大腸内視鏡検診を奨励、継続的な啓発で利用を促進。2018年度の利用者は2,206人(対前年比7%増)
- 婦人科系検診受診促進のために検診車等の活用

【目標】労働損失日数の低減

- 全社健康・メンタルヘルス委員会により、休業者の要因分析から、メンタル疾患に至る前に予兆を把握し、早期対策を講じる取り組みを実践。また、ストレスチェックをもとに組織分析を行い、リスクのある職場へのフィードバックを実施

【その他の主な活動】

- 2018年7月に、「健康推進グループ」組織を発足。健康保険組合を含むグループ全体で、健康管理目標、施策の共通化を図り、一丸となって推進する体制を構築
- 2019年9月、グループ従業員のさらなる健康増進強化に加え、健康長寿社会の実現に貢献していくため、健康経営宣言を公表
- 健康経営優良法人(ホワイト500)を3年連続で取得。併せてグループ会社9社も健康経営優良法人を取得
- 富士フイルム、富士ゼロックスのグループ各社が健康増進計画のための中期目標、KPI等を設定
- 健康経営の重点課題となる5つの領域(生活習慣病・喫煙・がん・メンタルヘルス・長時間労働)への取り組み策として、オンライン禁煙プログラム、ウォーキングイベント(歩活)などを推進
- 当社健康保険組合加入の各グループ会社(85社)について、各社別の健康課題を明確にし、経営トップ宛てに「健康通信簿」を通知
- 健康管理の仕組みを国内同等に強化した海外駐在員について、2017年から定期健診を確実に実施。また、健康リスクのある対象者への日本の医師からの電話面談・指導を実施

▶関連資料・データ: マネジメント編 P73 従業員の安全と健康



ウォーキングイベント(歩活)の案内ポスター

今後の
活動&目標

- グループ全体の従業員の健康増進活動、及び成果の社外発信強化
- グループ各社経営TOP主導の下、5つの対策領域での目標(KPI)設定と活動推進
- がん医療費に占める割合が高く、罹患者増加率も高い乳がん、大腸がんを重点とした対策を強化
- グループ全体の健康意識向上に向けたeラーニング実施
- 現在実施しているオンライン禁煙プログラム、ウォーキングイベントのさらなる推進、拡大
- 地域・国の実情に応じた健康増進策の推進、及びグッドプラクティスの共有